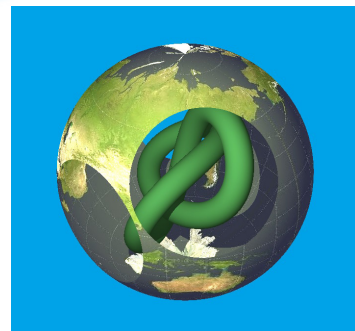


文化講座

専門家の興味深い話を聞ける

幾何学とは何か？

ピタゴラスの定理の先には
何がある？



たかが球面 されど球面

日時

1月22日(日) 13:00

場所

神総本部信光会館 2階
しんこうのやかた
ひかりのやかた
(偉光会館に中継)

講師

数学者

大学名誉教授 こおりやま 郡山 あきら 彬



幾何学というと、日本では、小学校でいくつかの簡単な図形を、中学校でピタゴラスの定理や三角形の合同条件など、図形に関する定理や証明を、高校で座標や関数、あるいは方程式に関連づけて学びます。それが、ほとんどの人にとって幾何学の全てと思います。

そもそも幾何学とは何でしょう。どんなことを研究し、どんなことに役立っているのでしょうか。今でも、ピタゴラスの定理や三角形の合同条件を研究しているのでしょうか。時々脇道にそれながら、その辺のことをお話しします。

入場無料！

信者籍のない方も

気軽にご参加ください

講師略歴

東京都立大学理学部数学科卒。

同大学大学院博士課程を単位取得満期退学し、私立大学に講師として就職。東京工業大学で学位取得（理学博士）。

アメリカ、マサチューセッツ工科大学（MIT）に客員研究員として一年間留学。

帰国後、幾何学の授業とコンピュータグラフィックス（CG）の授業を担当。

平成21年に定年退職し、現在は名誉教授。